

ヤマカトピックス

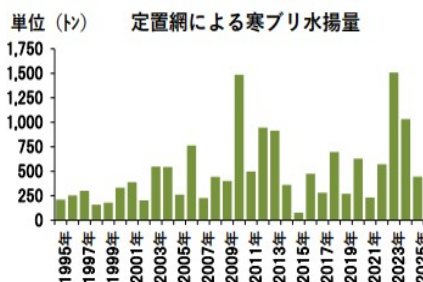
マグロ・カツオ漁に打撃

中東情勢の混乱に伴う原油の高騰が、漁業にも大きな打撃を与えています。大量の燃料を消費する遠洋のマグロ、カツオ漁ではコスト増は必至。長期の操業が出来ず、早めの帰港を余儀なくされる漁船も多いようです。操業コストの3分の1を占める燃料代の高騰は死活問題。操業期間の見直し、価格の上昇は不可避な状態です。



寒ブリ漁まとめ 25年11月~26年3月

期間中の定置網漁による寒ブリの漁獲量は 446 トンで前年の1032 トンからは大幅に減少。過去5年平均580 トンをも下回る結果となりました。原因として、日本海北部海域の海水温が高温で南下が遅れたことや能登沖の海水温も高く石川県沿岸、富山湾内に来遊がし難い状態だったことが考えられます。



入荷状況

5月
★タイ
カレイ類
★毛ガニ
サワラ(サゴシ)
サヨリ
★トリ貝
6月
スズキ
トビウオ
★岩カキ
メジ
フクラギ(ブリの幼魚)
★アカイカ
★スルメ



タイ

九州、関西方面からも潤沢に入荷。地物は安価ですが品質は今一つ。

毛ガニ、ベニズワイガニ

県内各産地から順調に入荷中です。ベニズワイガニが値ごろ感あり。

岩カキ(夏カキ)

三重などから入荷し始めています。8月末までが漁期です。3L(500g)サイズです。(能登産)

アカイカ、スルメイカ

九州からアカイカの入荷が増えてきます。スルメイカは入荷あるも高値。

ハモ

愛媛産、関西圏からの入荷です。韓国産は脂ののりが良いとされ高値。徐々に入荷しています。

トリ貝

地物は例年、入荷少なく高値です。

甘エビ

脱皮の時期も終盤か。かなり品質改善も不安定です。要注意です。

詳しくは営業担当までお問い合わせください。